

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	嚥下内視鏡検査（VE）を基準とした簡便な嚥下機能評価指標の妥当性と予後予測に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者：2020年～2025年9月（後ろ向き）、2028年9月（前向き）までのデータ 1. 当院にて言語聴覚士の嚥下リハビリ依頼のあった患者 2. VEを実施し、動画・記録より兵頭スコアを含めた指標が算出、抽出可能な患者 3. ASAPやInbody、嚥下エコーなどの嚥下関連機能評価のいずれかが取得可能な患者 4. 20歳以上である患者	
③概要	
急性期医療では、嚥下障害が誤嚥性肺炎、経口摂取再開の遅延、在院日数延長に直結するため、入院早期の評価が必須となっています。嚥下内視鏡検査（VE）はゴールドスタンダードの一つであり、臨床的に広く用いられています。しかし、実施には専門性と設備を要し、全例に行うことは現実的ではありません。そこで、本研究では急性期において、VEスコアと非侵襲的なベッドサイド指標との関係を体系的に検討した上で、これらの指標が誤嚥や誤嚥リスクを予測可能なものであるのかを明らかにします。また、誤嚥率や肺炎再発率などの重要なアウトカムと、VEを含めた嚥下機能評価が関連しているのかを検証します。	
④申請番号	E2025001801
⑤研究の目的・意義	VEの客観所見と簡便なベッドサイド指標との強い関連が示されれば、VE非施行例でも高精度なリスク層別化が可能となります。あた、誤嚥や誤嚥性肺炎をより早期から予測可能となれば、検査資源の最適配分、ハイリスク患者の早期抽出、適切なリハビリ介入につながります。
⑥研究期間	調査予定期間：倫理委員会承認後～2030年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究の成果は国際・国内学会発表及び論文発表を予定しておりますが、その際、個人を識別できる情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	VE指標（兵頭スコア、PAS、咽頭残留スケールなど）、嚥下関連機能評価結果、背景情報（年齢、性別、疾患情報、合併症、既往歴、在院日数、転帰先、薬剤など）、生化学データ、バイタルデータ（体温、血圧など）、各種機能評価結果（嚥下機能、身体機能、口腔機能、栄養状態、認知機能など）、食事内容、経口摂取量、画像データ（CT、MRI、VF、レントゲンなど）、肺炎重症度（A-DROP）
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 リハビリテーション技術科 言語聴覚士 石崎 雅史 責任医師 本田 耕平
⑪お問い合わせ先	研究責任者：石崎雅史（リハビリテーション技術科・言語聴覚士） 所属組織：魚沼基幹病院 所属部署：リハビリテーション技術科 住所：新潟県南魚沼市浦佐 4132 電話：025-777-3200 Email：ishizakimasa0508@gmail.com